

1000人のクロスロードTM2014 in 静岡

『クロスロード』は、阪神・淡路大震災の貴重な経験や知恵をもとにつくられた、次々にきびしい決断をせまられる災害対応シミュレーション・ゲーム。

トランプ大の YES/NO カードを使って、「避難所に家族同然のペットをつれていくか?」というような課題に意見を出し合います。

今回は、神戸・仙台・高知の3会場をネットでつなぐほか、

全国各地でクロスロード大会を同時におこない、

大災害にそなえるための1000人の知恵を集結させます。

静岡県でも、サテライト会場として地震防災センターでおこないます。

ぜひ、ご家族や仕事なかま、地域ぐるみで防災について考えるひとときを。



日 時 **2014年12月23日(火/祝)** 13時~16時30分

会 場 **静岡県地震防災センター** (静岡市葵区駒形通5丁目9-1)

対 象 自主防災会の方や行政関係者、**子どもから大人まで、どなたでも** 約80人(要予約)
(グループワークを行います。グループ編成を行いますので、事前に予約願います)

参 加 申 込 裏面の参加申込書を地震防災センターへ

プログラム 1. 講演「クロスロード~開発と10年の歩み~」

京都大学教授 矢守克也氏/慶應義塾大学教授 吉川肇子氏
(神戸会場からネット配信の予定)

2. クロスロード・ワークショップ

参加無料



■クロスロードとは■

「クロスロード (CROSSROAD)」は「岐路・分かれ道」のこと。

阪神淡路大震災の体験を元に作られた、

難しい決断に迫られる災害対応のシミュレーション・ゲームです。

ゲームに使う小道具は、トランプ大の YES/NO カード。

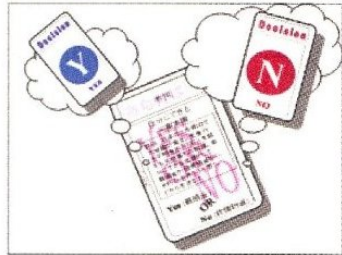
参加者は5～7人のグループに分かれ、「人数分用意できない緊急食料を配る？」

といった問題に YES か NO を決断、理由を述べ合います。



～クロスロードの流れ～

右か左か—どうしよう…?



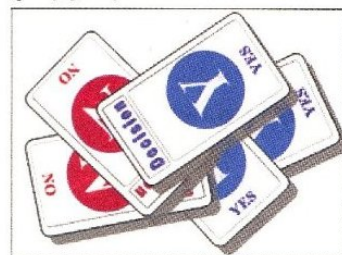
1. 問題を出します

あなたなら どうしますか…?



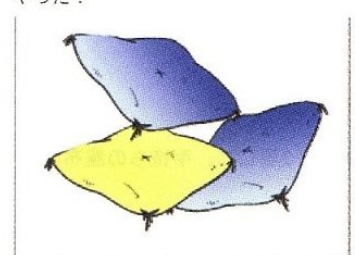
2. YES か? NO か?

オープン…!



3. 全員がカードを出したら

やった!



4. 多数派意見の方に座布団

1000人のクロスロード・プロジェクト

クロスロードの開発のもととなった阪神・淡路大震災で得た経験の継承と教訓の発信をしようとして、2005年からクロスロードで震災の体験を伝える活動を続ける「神戸クロスロード研究会」を中心に、クロスロードでつながった全国各地の団体や個人、開発者を含む有志 20 名で 2014 年に実行委員会を設立。メイン会場の神戸、サブ会場である仙台、高知、サテライト会場として札幌、酒田、横浜、静岡、呉など、全国で 1000 人が同時に参加するクロスロードの実現をめざしています。

「千人クロスロード」実行委員会 <http://crossroad2014.jimdo.com/>

【お問い合わせ】

静岡県地震防災センター (電話 054-251-7100 電子メール eq-center@amethyst.broba.cc)

又は 静岡県危機管理部危機政策課 (電話 054-221-3731 電子メール boukei@pref.shizuoka.lg.jp)

「1000人のクロスロード2014 in 静岡」参加申込書

平成 26 年 12 月 23 日 (火・祝) 13 時開催

電話 054-251-7100 FAX 054-251-7300 電子メール eq-center@amethyst.broba.cc

電話、FAX 又は電子メールにて申込みください。(先着 80 名、平成 26 年 12 月 18 日締切)

お名前	お住まいの市町名、又は勤務先	連絡先

※グループワークとなります。団体で申し込まれても別のグループとなることがありますので、予めご了承下さい。